

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和5年2月24日

事業所名:多機能型事業所きら館はるやま
(主たる事業所)

保護者等数(児童数)25名

回収数 22名

割合 88%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	0	0	・きら館のホールでの活動も、ウェルガーデンの芝生での活動もとても楽しんでいる。	・子どもたちが過ごしやすい環境構成への配慮を行っている。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3	0		・職員数や専門性についての情報を分かりやすく伝えていく。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	0	0		・現在スロープ等は設置されていないが、今後必要であれば、子どもの様子に応じて設置を行っていく。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	22	0	0		・アセスメントを実施し、ニーズや課題の分析、児童発達支援計画の作成を行っている。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	0	0		・外出活動やお泊り活動等、子どもの段階に沿った活動を取り入れている。 ・子どもが楽しみながら活動に参加し、様々な経験をすることができるよう、活動内容を
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18	4	0		・新型コロナウイルス感染防止のため、交流の機会を設けることはできなかったが、子ども食堂へ地域の子どもの招待し、交流の場を設けていく。
保護者 への 説明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0		・契約時だけでなく、必要に応じて、その都度丁寧な説明を心掛けていく。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	0	0	・送迎の際のやりとりがとても助かっている。	・日々の活動の様子を丁寧に伝え、共通理解を図っていく。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	0	0		
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	5	0		・新型コロナウイルス感染防止のため、保護者同士の連携の場を設けることができなかった。今後は、茶話会等の機会を作り、交流の機会を設けていく。 ・長期休みや休日など、保護者が参加しやすいよう日程を調整していく。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	1	0		・苦情等へ迅速、丁寧に対応できるよう心掛けていく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1	0		・帳面や送迎時に、子どもの様子を伝え、情報伝達を行っている。日頃、直接お会いすることが難しい保護者には、必要に応じて電話でのやりとりを行っている。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	0	0	・コドモンのアプリでやりとりができ、とても便利。	・ブログやInstagram等のSNSを通して、活動の様子を発信を行っている。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	22	0	0		・個人情報の取扱いについて、十分な配慮を行っている。
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	2	1	・感染症や防犯等、すぐに対応策をコドモンや電話でお知らせしていただくので、安心して利用できている。	・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っている。 ・感染症の発生状況や防犯対策については、必要に応じて発信し、対策、対応を行っている。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	2	0		・定期的に避難訓練を実施し、訓練の様子を保護者へ伝えていく。
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	・毎日「行きたい。」と言っている。 ・とても楽しみにしており、先生やお友達とのやり取りを嬉しそうに話してくれる。	・子どもたちが楽しく通所することができるよう支援内容を考慮したり環境作りを行ったりしていく。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	22	0	0	・丁寧に支援をしてくださり、ありがたい。 ・先生方の対応が素晴らしい。 ・子どもの成長に合わせて支援してくださり、感謝している。 ・本人の課題を手厚く支援して頂けることがありがたい。	・引き続き、充実した支援となるよう心掛けていく。 ・子どもの成長や課題について丁寧に伝え、共通理解を図りながら、家庭と連携した支援を行っていく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和5年2月24日

事業所名:多機能型事業所 きらら館はるやま
(主たる事業所)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数に応じて、訓練室等のスペースを十分に確保し、支援を行っている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・適切である。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・安全に過ごすことができるよう配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・子どもの支援に関する目標や課題を挙げ、振り返りや見直しを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け事業所評価を実施し、意見を基に改善に取り組んでいる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・保護者等向け評価表及び自己評価の結果をホームページで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・第三者評価による外部評価は行っていない。今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に研修の機会を設け、資質向上に繋げている。 ・LDやSST等、子どもの様子に応じて、必要な研修を行っている。 ・非常勤職員参加の事業所内研修の機会を増やし、支援内容の共通理解につなげている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの課題と保護者のニーズを踏まえた上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・標準化されたアセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動案を立案する職員が案を作成し、各担当職員に伝達を行っている。	・現状や課題を踏まえ、必要な活動や取り入れていきたい活動について、各担当職員からの意見も取り入れながら立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎月の目標を決め、その目標を基に活動案を立案している。 ・外出活動やお泊り活動等、子どもの現状に応じて、活動内容を工夫し、様々な経験ができるようにしている。	・年齢の幅が大きくなっているため、より個々に沿った支援の充実へ取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日や長期休暇も学習の時間、活動の時間を設け生活リズムを崩すことなく支援を行っている。 ・長期休暇には、外出活動や社会体験活動を多く取り入れ、充実した支援となるよう努めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。 ・活動内容に応じて、個別と集団を判別し、取り組んでいる。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・一週間前に活動案の周知を行っている。当日、支援内容や役割分担を担当職員で共有している。最近の子どもの様子や学校、保護者からの申し送り事項についても共有をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・活動終了後、振り返りを行う中で、支援内容の見直しを行っている。	・振り返りや見直しの時間を十分に確保できていないことが多い。時間の確保や振り返りの仕方の見直しを行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録を取ることを徹底している。	・記録を見直す機会が少ないため、その都度見直しを行いながら、必要に応じて、気づきや改善点についてケース検討会議やミーティングを行っていく必要がある。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			・個々の課題に応じて、複数組み合わせる支援を行っている。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での様子等を説明している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校と直接やりとりをすることは少なく、保護者と連絡を取り合っている。	・利用児童や下校時間に関する情報交換が十分にできていないことがあるため、密な情報交換を心掛けていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在は対象児童はいない。 ・受け入れを行う際は、主治医等との連絡体制を整えていく。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・必要に応じて連絡を取っている。	・密に情報共有を行うことはできていないため、情報共有や相互理解に努めていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・現在は対象児童はいない。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・公開療育や外部研修への参加を行い、他事業所との連携を図っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・子ども食堂を開催し、交流の機会を持った。	・交流の回数は少ないため、機会を増やしていく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		・今年度は新型コロナウイルス感染症のため、参加ができていないが、今後は積極的に参加をしていく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・日頃の支援の様子や学習の様子について、保護者に伝え、共通理解を図っている。 ・直接お話しすることが難しい保護者に対しては、電話や保護者用アプリで様子の伝達を行っている。	・日頃の支援の様子や学習の様子について、保護者に伝え、共通理解を図っている。 ・直接お話しすることが難しい保護者に対しては、電話や保護者用アプリで様子の伝達を行っている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		・ファミリーサロンの参加者が少ないため、実施日程を工夫したり、個別に声を掛けたりし、参加しやすいような配慮を行う必要がある。 ・子どもの現状や課題に合った講習会等を取り入れていく。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や必要に応じて説明を行っている。引き続き、丁寧な説明を心掛けていく。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの悩みや相談に対し、電話や保護者用アプリで対応したり、面談を実施する等し、その都度助言や支援を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会については3月に実施をしている。	・保護者の交流の機会については、新型コロナウイルス感染防止のため、実施ができていない。茶話会や保護者同士の活動等を計画し、保護者同士のかかわりや情報交換ができる場の提供、機会を増やしていく必要がある。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情があった際には、迅速に対応し、見直しや周知を行っている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・保護者用アプリで、活動予定表や活動の様子写真等を掲載し、発信をしている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・意思疎通や情報伝達のため、配慮しながら支援を行っている。 ・直接お会いすることが難しい保護者に対しては、必要に応じて電話や保護者用アプリを使って、様子の伝達を行っている。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				○	・今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、行事等への地域住民の参加は行っていない。今度、積極的に行事等への参加の呼びかけを行っていく。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・火災や地震等、場面を想定した訓練を定期的に行っている。	・玄関にマニュアルを掲示しているが、保護者が確認をする機会は少ないため、保護者会等で、声掛けや周知が必要。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に避難訓練を実施している。	・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・今年度より虐待防止委員会を立ち上げている。 ・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束については行っていない。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティング時に周知、改善策について検討を行っている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和5年2月24日

事業所名:多機能型事業所きらら館はるやま
(従たる事業所第3きらら館)

保護者等数(児童数) 6

回収数 6

割合 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0	・部屋が区切られていないため、集中できない時がある。	・パーティション等を使用して部屋を区切る等、子どもの様子や活動に応じた環境構成への配慮を行っていく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0		・職員数や専門性について、分かりやすく丁寧に伝えていく。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	0	・玄関の段差の高さが気になる。	・玄関の段差においては、怪我につながらないように、その都度声を掛けていく。今後状況によっては、段差への配慮を検討していく。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	6	0	0		・アセスメントを実施する中で、保護者から子どもの様子や課題、目標を聴き取り、ニーズや課題の分析、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	0	0		・社会体験活動やコミュニケーションを図れる活動等、様々な経験、体験につながる内容を考慮し、個々の発達に応じた支援となるよう配慮していく。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	・子どもは交流の場を設けたくないようである。	・昨年度に引き続き児童館との交流を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止になった。子どもが楽しみながら交流したり、活動したりできる内容を考慮し、実施していく。
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0		・見学時や契約時に活動内容や利用者負担額については説明を行い、同意を頂いた上で支援を実施している。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0		・送迎時や面談時を通して、日々の活動内容や子どもの様子を丁寧に伝え、共通理解を図った上で支援を実施できるようにしていく。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	0	0		・面談や日々のやり取りを通じて、子どもの様子やかかわり方等、必要な情報を伝え、助言等の支援を行っていく。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	0	0		・保護者会や行事開催を通して、保護者同士の連携や情報交換、共有の場を設けていく。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0		・苦情等頂いた際は、その都度迅速に話し合い、改善、周知し、丁寧に対応できるよう心掛けていく。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0		・子どもの様子や目標、活動内容等、より具体的に伝え合うことができるよう、配慮していく。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0		・月の活動予定表やホームページ、インスタグラムにて様子を掲載している。子どもの様子がより具体的に伝わるよう、更新頻度を多くしていく。
⑭ 個人情報に十分注意しているか	6	0	0		・契約時にホームページの掲載等についての確認を行い、同意を得た上で掲載している。 ・個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っていく。	
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1	0		・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるようにしていく。 ・感染症や災害時等、場面を想定した訓練を定期的に行っていく。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	0	0		・消防署立ち会い訓練を2回、自主訓練を2回、計年4回の訓練を実施している。今後も計画的に実施し、訓練の様子についてその都度保護者に伝達していく。
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	5	1	0	・家が一番好きな場所だと話しているため。	・自立に向けた取り組みを行う中で生きる力を培ったり、社会体験活動やお友達との交流等、子どもたちが学びや達成感、満足感を感じながら過ごしたりすることができるよう、支援を実施していく。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	6	0	0		・子どもの様子について保護者や関係機関と密に情報交換を行い、共通理解の基、支援を実施することができるようにしていく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和5年2月24日

事業所名:多機能型事業所きらら館はるやま
(従たる事業所第3きらら館)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数に対して、訓練室等のスペースを十分に確保し、支援を行っている。 ・活動内容によって活動場所を考慮したり、バーションンで空間を区切ったりしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・職員の配置基準においては、配置基準を満たしている。 ・状況によって個別対応もできるよう、職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・安心、安全に過ごすことができるよう、配慮している。	・現在手すりやスロープ等は設置されていないが、今後必要であれば、子どもの状況や様子に応じて設置を検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・支援内容や業務に対しての目標、課題を挙げ、振り返りや見直しを行い、職員間での共有、改善につなげている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け事業所評価表を実施し、意見を基に話し合いを行い、改善に取り組んでいる。 ・保護者からの意見を把握した上で業務や支援にあわせている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・自己評価の結果について、改善点を職員間で話し合い、ホームページで自己評価の結果を公表している。	・公表後、自己評価の結果をホームページにて公表している旨を保護者に伝えるようにしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者による外部評価は実施できていない。	・今後は第三者による外部評価を検討していく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・時期や子どもの様子に合わせて必要な研修内容を検討、実施し、質の向上につなげるようにしている。	・今後は外部講師による研修をより多く検討し、職員の学びの場、支援の質の向上につなげるようにしていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者へ聞き取りを行い、保護者のニーズと子どもの課題を踏まえた上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通したアセスメントシートを使用し、子どもの様子や課題、目標を共通理解した上で支援を実施できるようにしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・年間計画に沿って活動案を検討し、個別支援計画を踏まえながら個々の段階に合ったプログラムを実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間計画や各月の目標に沿って立案している。 ・複数の職員が月毎に担当するグループを交えながら活動案を決めることで、固定化しないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日や長期休暇だからこそできる目標や課題を子どもと話し合いながら決めたり、体験学習をより多く取り入れたりしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援環境や活動の目的等を放課後等デイサービス担当職員で共有し、共通理解を促した上で支援を実施することができるようにしていく。	・活動の目的や内容、配慮事項等について支援開始前に話し合いを行うようにしているが、実施できていない日があったり、直前になったりすることもあるため、早めに時間を設けるようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後に支援内容や子どもの様子、行動等について振り返ったり、情報共有を行ったりしている。	・放課後等デイサービスの担当職員では共有できているが、職員全体での共有ができていないことがあるため、全体で周知、共有できる場を設けるようにしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・活動の反省、評価や子どもの様子について、日々記録をとることを徹底し、改善点や気付きについてケース検討やミーティングを行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・個別支援計画の時期に合わせてモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・個々の課題や保護者のニーズに合わせて、ガイドラインの基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や児童の担当職員を参画させ、事業所での状況を説明している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎時を通して、子どもの様子や目標等について情報共有を行っている。 ・適宜連絡が必要な際は電話連絡を通して伝達し合っている。	・今年度は面談の実施ができなかったため、今後は具体的に情報交換を行う場を設けていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在対象児童はいないが、受け入れを行う際は、主治医等との連携を図っている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・子どもの様子や課題等について情報共有、相互理解に努めている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・現在対象児童はいない。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・公開講座に参加したり、地区の会議に出席したりする中で児童発達支援センターや他事業所との連携を図っている。	・地区の会議に参加する回数が少なかったため、今後は積極的に参加していく。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流の機会を設けることが少なかったが、こども食堂を開催し、交流の機会を図った。	・今後は児童館との交流を検討、実施していく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加ができなかった。	・今後は参加を検討していく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時や面談時を通して、日々の支援の様子や課題、目標等についての情報交換、共通理解を図っている。 ・ファミリーサロンを通して、子どもの様子を伝え合えるようにしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・保護者に対し、必要に応じて、特性の理解やかかわり方につながるよう、家族支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学時や契約時に活動内容や利用者負担額等について説明を行っている。	・分かりやすい説明を心掛けていく。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの相談や悩みに対し、面談を実施したり電話連絡を行ったりし、その都度助言を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者会やファミリーサロンを実施することはできたが、保護者同士の連携の場を設けることが少なかった。	・今後は保護者同士で話したり、活動を共有したりする場を設け、連携につなげていく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情、ご意見等があった際には、全職員で迅速に対応方法を検討し、見直しや改善、周知を行っている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月の活動予定表やブログ、Instagramを活用し、活動の様子を発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。 ・ホームページ、Instagramへの記載については、同意を得た上で掲載している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・子どもの段階に合わせて視覚支援や構造化を取り入れる等、意思疎通や情報伝達のため、配慮をしながら支援を実施している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域住民の招待ができなかったが、昇降口等の中で挨拶や会話のやり取りを交わす等の地域の方との交流は見られた。	・今後は地域に開かれた事業運営を心掛けていく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・随時閲覧できるようにマニュアルのファイルを作成し、保管してある。保護者に対しては、契約時に説明は行っているが、保護者がマニュアルを閲覧できる機会は設けられていない。	・周知のみではなく、保護者がマニュアルを閲覧できるような対応も行っていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・消防署の立ち会い訓練を2回、自主訓練を2回、年に計4回火事や地震、土砂災害等の場面を想定した訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・外部研修への参加、事業所内研修を実施し、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束については行っていないが、身体拘束についてのマニュアルを策定し、体制を整えている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者へ医師からの指示を確認し、除去食等への対応を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている。	・報告書の作成後、改善点についてのミーティングを実施できていないことがあったため、その都度話し合いの場を設ける中で改善点を挙げ、周知し、事故、怪我を未然に防げるようにしていく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)